

# 明石市第6次障害者計画策定に係る 事業所アンケート調査結果報告書

## 目次

1	調査の概要.....	1
	(1) 調査の目的 .....	1
	(2) 調査方法・実施期間.....	1
	(3) 調査の対象・配布数.....	1
2	回答内容の概要 .....	2
	(1) 全事業所共通 .....	2
	(2) 相談支援事業所 .....	3
	(3) 障害児通所支援事業所.....	5
	(4) 就労継続支援（A・B）、就労移行支援、生活介護、自立訓練（機能訓練・生活訓練） ...	6
	(5) 施設入所支援、生活介護、共同生活援助、短期入所 .....	7
	(6) 共同生活援助 .....	7

令和5年8月

明石市

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、「第6次障害者計画」、「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」の策定に伴い、明石市の各種障害福祉サービスの見込量を把握するとともに、障害福祉の現状や課題、ニーズを把握したうえで、計画策定のための基礎資料として活用していくことを目的に実施しました。

## (2) 調査方法・実施期間

- 調査方法…記入式の調査票による回答
- 調査実施期間…令和5年5月26日～令和5年6月9日

## (3) 調査の対象・配布数

調査対象者	市内の障害福祉サービス事業所
配布数	315件
調査方法	記入式の調査票による回答
回収数	169件
回収率	53.7%

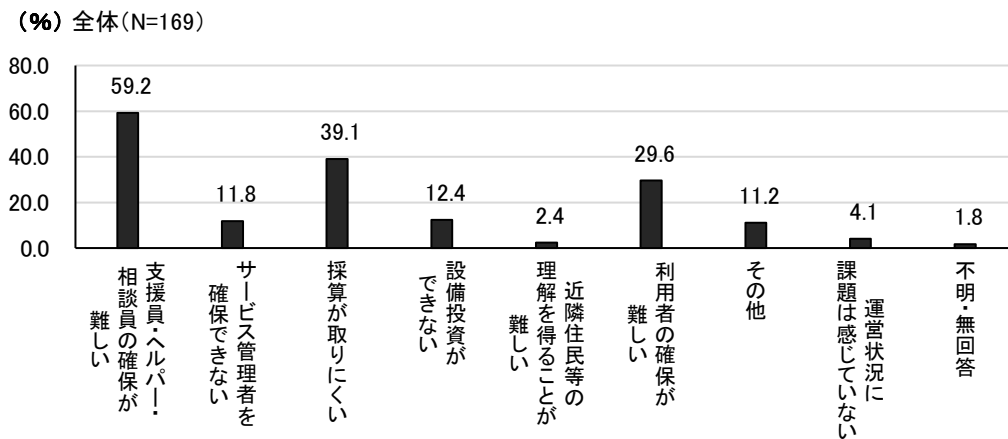
## 2 回答内容の概要

### (1) 全事業所共通

#### ■事業所運営上の課題

- 事業所運営上の課題としては、「支援員・ヘルパー・相談員の確保が難しい」が59.2%と最も多く、次いで「採算が取りにくい」が39.1%、「利用者の確保が難しい」が29.6%となっている。
- 新たな利用者の受け入れに至ったきっかけとしては、「相談支援事業所からの紹介」が60.4%と最も多く、次いで「事業所のHP等を見た本人や家族からの問い合わせ」が38.5%、「関係機関（基幹相談支援センター等）からの紹介」が34.3%となっている。
- 現在、利用者を積極的に募集している事業所は55.6%となっている。

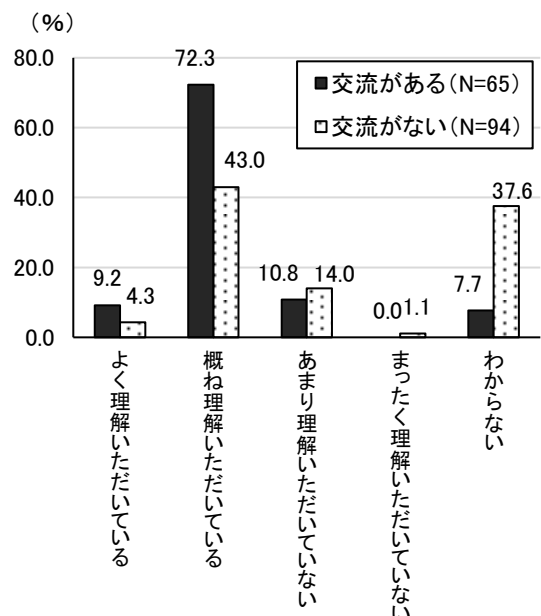
◆事業所の運営状況



#### ■事業所と地域住民等との交流について

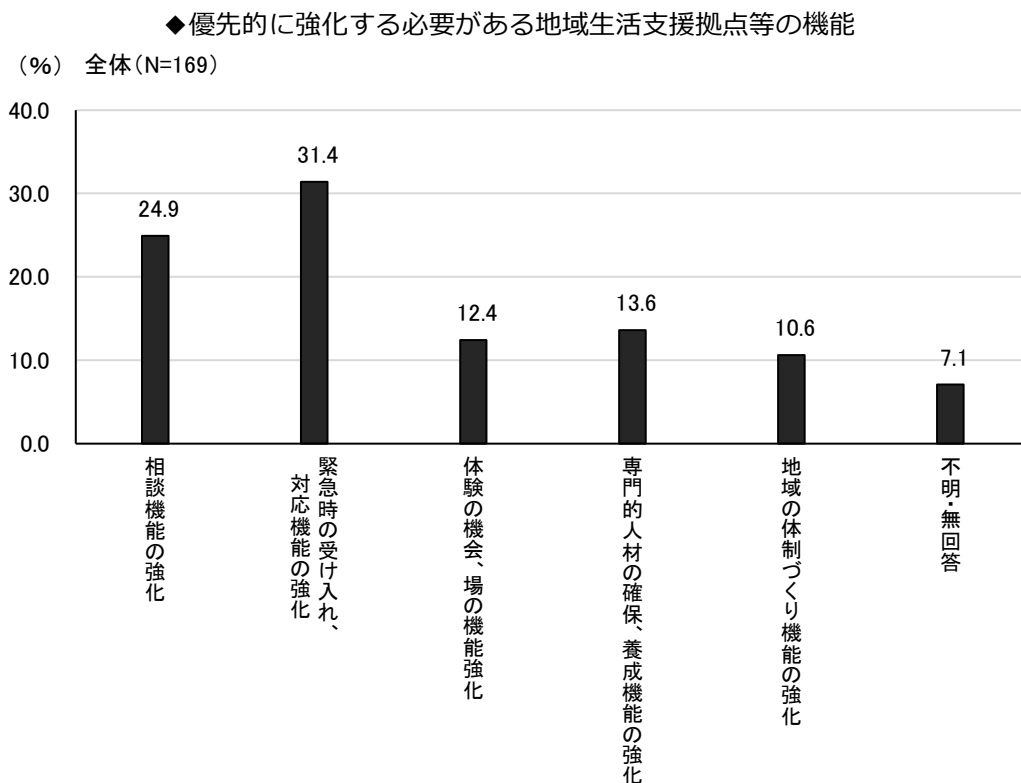
- 事業所と地域住民等との交流があると答えた事業所は39.6%となっており、その内容としては、地域のイベントへの参加が最も多くなっている。
- 事業所の活動や地域住民等の理解については、「よく理解いただいている・概ね理解いただいている」が合わせて58.0%、「あまり（まったく）理解いただいている」が合わせて14.2%となっている。
- 地域住民との交流や事業所への理解を深めるために実施していることとしては、「自治会やまちづくり協議会などとの関係づくり、行事への参加」が46.2%と最も多く、次いで「事業所情報の発信」が32.5%となっている。その他では、清掃活動への参加の回答が多くなっている。

◆事業所の活動や障害者に対する地域住民等の理解について  
(地域住民との交流の有無とのクロス集計)



## ■ 地域生活支援拠点等が備える機能について

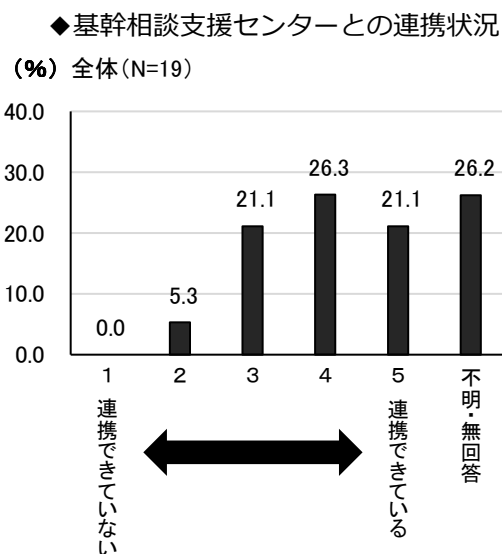
- 地域生活支援拠点等として優先的に強化する必要があるものとしては、「緊急時の受け入れ、対応機能の強化」が 31.4%と最も高く、次いで「相談機能の強化」が 24.9%、「専門的人材の確保、養成機能の強化」が 13.6%となっている。



## (2) 相談支援事業所

### ■ 基幹相談支援センターとの連携について

- 基幹相談支援センターとの連携状況については、5段階評価の5が 21.1%、4が 26.3%、3が 21.1%、2が 5.3%、1が 0.0%となっている。
- 基幹相談支援センターが主催する研修へは、57.9%の事業所が「参加している」と答えている。

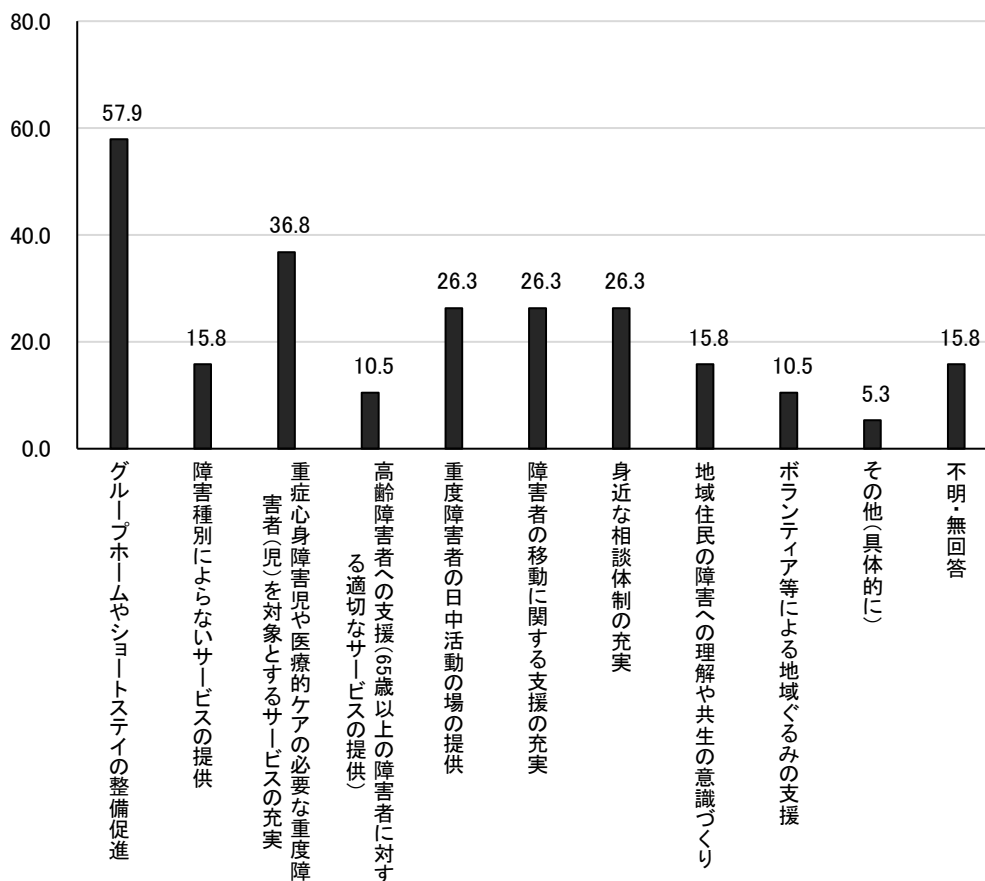


## ■ 障害者の地域移行や地域定着に必要な取組について

- 障害者の地域移行や地域定着に必要な取組としては、「グループホームやショートステイの整備促進」が 57.9%と最も多く、次いで「重症心身障害児や医療的ケアの必要な重度障害者(児)を対象とするサービスの充実」が 36.8%となっている。

◆ 障害者の地域移行や地域定着に必要な取組

(%) 全体(N=19)

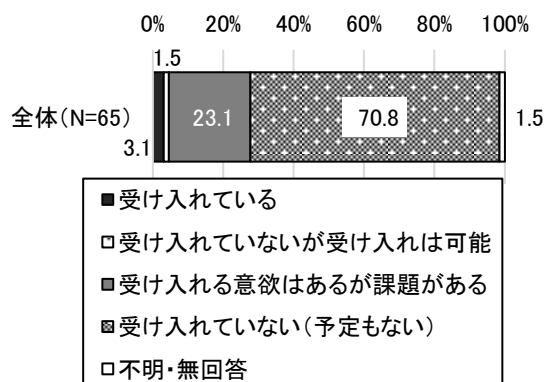


### (3) 障害児通所支援事業所

#### ■ 医療的ケア児の受け入れ状況について

- 医療的ケア児を「受け入れている」が 3.1%、「受け入れているが受け入れは可能」が 1.5%、「受け入れたいが課題がある」が 23.1%、「受け入れている（予定もない）」が 70.8%となっている。
- 「受け入れている（予定もない）」「受け入れたいが課題がある」と答えた事業所の課題（理由）としては、「専門職員の確保」や「バリアフリー環境の整備」などが挙げられている。

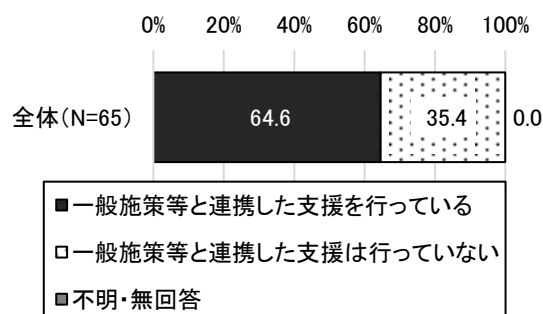
◆ 医療的ケア児の受け入れ状況



#### ■ 一般施策等（保育所や学校、放課後児童クラブ、地域の学習塾等の習い事全般）との連携について

- 一般施策等と連携した支援を「行っている」が 64.6%、「行っていない」が 35.4%となっている。
- 「行っている」と答えた事業所の主な取組としては、「学校園等への送迎時の情報共有」、「支援会議への参加」などが挙げられている。
- 一般施策等との連携にかかる課題としては、「学校園により対応が異なる」などが挙げられている。

◆ 事業所における支援と一般施策との連携

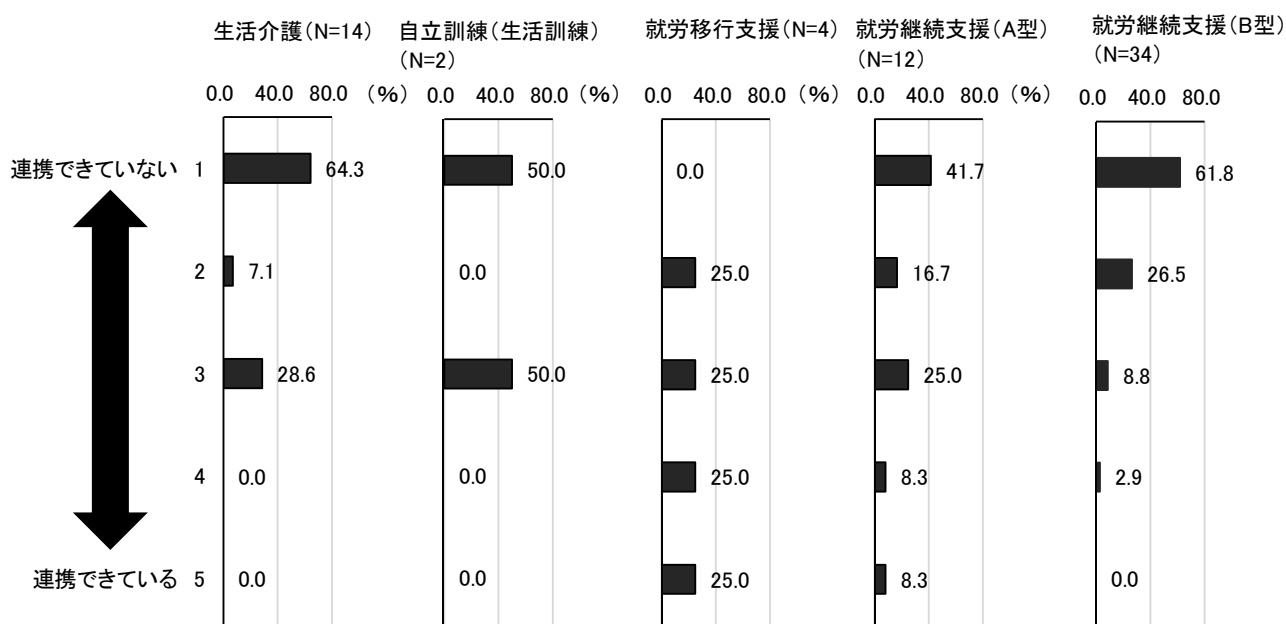


## (4) 就労継続支援 (A・B)、就労移行支援、生活介護、自立訓練 (機能訓練・生活訓練)

### ■ 障害者就労・生活支援センターあくととの連携について

○ 障害者就労・生活支援センターあくととの連携状況については、5段階評価の5が2.8%、4が4.2%、3が16.9%、2が19.7%、1が50.7%となっている。

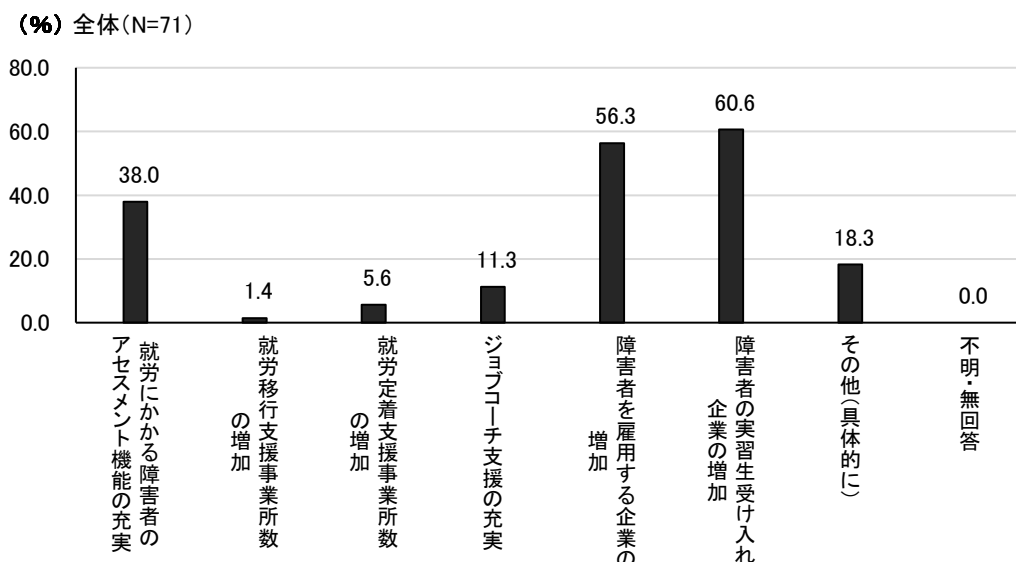
◆ 障害者就労・生活支援センターあくととの連携状況



### ■ 一般就労への移行を進めるために必要な取組について

○ 一般就労への移行を進めるために必要な取組としては、「障害者の実習生受け入れ企業の増加」が60.6%と最も多く、次いで「障害者を雇用する企業の増加」56.3%、「就労にかかるアセスメント機能の充実」が38.0%となっている。

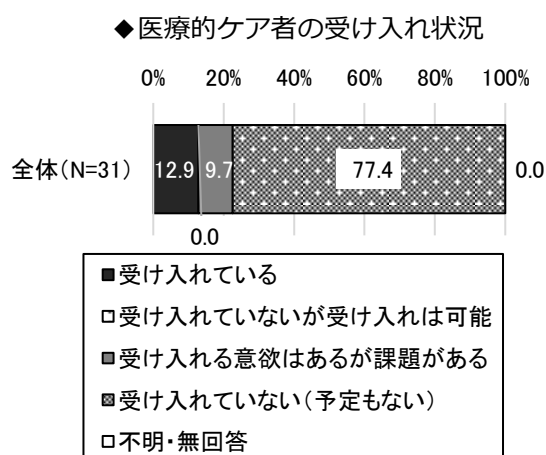
◆ 一般就労への移行を進めるために必要な取組



## (5) 施設入所支援、生活介護、共同生活援助、短期入所

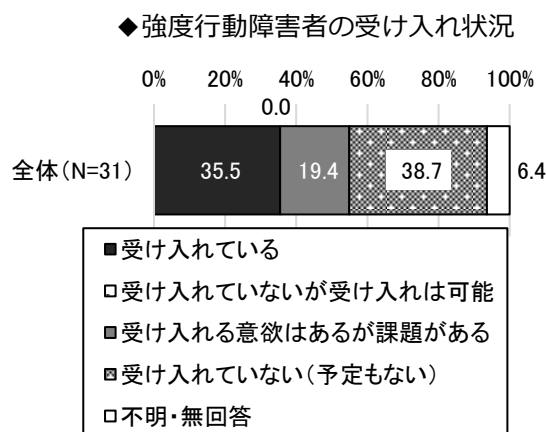
### ■ 医療的ケア者の受け入れ状況について

- 医療的ケア者を「受け入れている」が 12.9%、「受け入れているが受け入れは可能」が 0.0%、「受け入れたいが課題がある」が 9.7%、「受け入れている (予定もない)」が 77.4% となっている。
- 「受け入れている (予定もない)」「受け入れたいが課題がある」と答えた事業所の課題 (理由) としては、「専門職員の確保が難しい」ことが挙げられている。



### ■ 強度行動障害者の受け入れ状況について

- 強度行動障害者を「受け入れている」が 35.5%、「受け入れているが受け入れは可能」が 0.0%、「受け入れたいが課題がある」が 19.4%、「受け入れている (予定もない)」が 38.7% となっている。
- 「受け入れている (予定もない)」「受け入れたいが課題がある」と答えた事業所の課題 (理由) としては、「専門職員の確保が難しい」、「既存利用者への影響」などが挙げられている。



## (6) 共同生活援助

### ■ 一人暮らしへの移行について

- 一人暮らしへ移行した利用者の有無については、23.1%が「いる」、76.9%が「いない」となっている。
- 今年度中に一人暮らしへ移行予定の利用者がいる事業所は 30.8%となっている。
- 一人暮らしを希望する利用者の支援については、「支援をしている」と「一人暮らしを希望する利用者はいない」が半々となっている。
- 「支援をしている」と答えた事業所の具体的な支援内容としては、「服薬や金銭管理のトレーニング」、「清掃や洗濯などの生活スキルの向上に向けた支援」などが挙げられている。

